

しんらん同人

誓



ちかう ちぎる 約束する いましめる つつませる かならず 仏・菩薩の誓願

No.566

1.2 月号

浄土真宗本願寺派 誓願寺

〒171-0052 東京都豊島区南長崎1-3-8

【電話】03-395507828 【ホームページ】http://www.seiganji-tokyo.jp/

われもひかりのうちにあり

誓願寺住職 古賀尚之

明けましておめでとうございます

新しい年が皆様方にとりましてより良き一年でありますことを、誓願寺関係者一同心より願っております。

以前から薦められていたネットバンキングをお寺の口座取引に導入致しました。まだ十分には使いこなし切れてはいませんが、確かに便利です。世の中に広まるのも理解が出来ます。

スマートフォンを持ちながらラインやSNSの機能は無用の長物とばかりに、電話とアラーム機能しか使用していない現状を反省しましたが、誹謗中傷の拡散等危険との遭遇には充分注意しなければなりません。

一方で、変わらないものも沢山あります。

人生は、生老病死をはじめ自分の思い道理にならない苦しみに溢れているが、心の持ち方によって克服できると、お釈迦様がお示し下さり。悟りへの道をお説きになられました。

親鸞聖人は、「阿弥陀如来の、すべてのものを救うという誓願」を伝えて下さいました。

令和五年には「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年」を迎え、本山や各地で慶讃法要がお勤めされます。

新年にあたり、安心して生きることのできるみ教えを受け継いで行く決意であります。

【2022年 誓願寺 年間法座予定】

12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月	3月	2月	1月
12月31日	11月27日	10月23日	9月25日	8月28日	7月24日	6月26日	5月22日	4月24日	3月27日	2月27日	1月23日
10時	10時	10時	10時	10時	10時	10時	10時	10時	10時	10時	10時
除夜会	一定例法座	一定例法座	一定例法座	一定例法座	一定例法座	一定例法座	一定例法座	一定例法座	一定例法座	一定例法座	一定例法座

念仏者は美しく

誓願寺初代住職

故 岡本泰雄



毎日のように寺に参り念仏申す身でありながら、日常の生活が他人から非難されるような人があるが、それでいいのであろうか。

人はその人の日常の生活の良し悪しによって、その信仰の善し悪しを判断するものである。その生活が美しければ信仰の人であり、その教えも立派であろうといい、どんなに教えが立派であっても、その教えを奉ずる人の生活が美しくなければ、その教えをつまらぬもののように言うものである。

だから、信仰者はそれらしい美しい生活態度がなければならぬ。信者の生活が美しくなければ、その教えはしりぞけられ広まるということはないであろう。こうした意見を述べる人がいるし、こうした考えをしている人は多いのではないかと思われる。

この意見は全くその通りだと思う。だが、その考えを自分自身に向けたらどうであろうか。私は念仏者である。だから誰からも非難されることもない、自分自身恥じることはひとつもないと、はっきり言い切れるであろうか。

実際に、この通りの人であるならば念仏をいただく用事のない人ではないであろうか。「思うてはならぬことを思い、言うてはならぬことを言い、してはならぬことをする、それが悲しい凡夫のすがたである」と言われた聖人のお言葉を、どう聞かせて頂くのであろうか。

お念仏申しながら、まことに恥ずかしい日暮しをしている自分である。それでいいなどは決して思わないし、そうあつてはならぬと思いつつ、あさましい日暮しをしている自分である。朝夕のおつとめひとつをとつても、まともに如来さまの御恩に感謝しつつ礼拝することさえできない自分である。かんしゃくもちの私は、お念仏をいただきながら、かんしゃくはなおらない。相変わらずかんしゃく玉をばくはつさせている。

「わが身ながめりや、あいそもつき

る。わが身ながらもいやになる」とうたった同行がある。全くその通りである。そして、それに続いてこううたっている。「いやになるよな、ざまたれ婆々に、ついてはなれぬ親ござる」と。

わが身ながらもいやになるようなどうしようもない自分に、ついてはなれぬ真実の親がましますのである。迷いを出ることのできない者であればこそ、如来の本願はここにかけられたのであった。どうしようもないこの私に如来の悲願がおこされたのである。

まことに勿体ないことである。ありがたいことである。申し訳ないことである。ただ恥じ入るばかりである。もし少しでもよいことがあるとするなら、それは大悲廻向のおはたらきに他ならない。よきことを思いつくるも御恩なり、わるきことを思いつてるも御恩である。

美しい生活をせねばならぬといつてできる自分ではない。そんなあさましい、あつかましい私が如来の光に包まれ、やがてお浄土に参らせて頂くときかされてみれば、何かじつとしておれない。この御恩に報いねば相すまぬことである。



副住職
法話

古賀明徳

「誓願」について

皆様、明けましておめでとうございます。

誓願寺の今年の漢字は「誓」という文字にさせていただきました。本日はこの「誓」ということについて少しお話をさせていただきます。

私の車のナンバープレートの番号は「18」です。浄土真宗のお坊さんの車の番号はこの「18」という番号が多いようです。道を走っている車の番号で「18」を見つけたら浄土真宗のお坊さんかもしれません。この「18」という番号は阿弥陀様とても関係の深い番号なのです。

浄土真宗で最も大切にされているお経典『仏説無量寿経』には、ある国の王様が阿弥陀様に成られた際のお話が記されています。

王様は阿弥陀様に成る時に四十八個の誓いを立てられました。その中の十八番目に誓われたものを「ご本願」と言います。一番大切な誓いではありません。このご本願は一番大切な誓いなのに一番最初に誓われているのではなく、十八番目に誓われているのかということには様々な見解がありますが、このご本願を木の幹として他の四十七の願いがそれを支えていると考えるのが通説です。

このご本願には「設我得仏 十方衆生 至心信樂 欲生我國 乃至十念 若不生者 不取正覺 唯除五逆 誹謗正法」とあります。訳すると、「私が仏さまに成る時に、すべての世界の生きとし生けるものが心から信じて、私の国に生まれたいと願い、わずかに十回でも念仏して、もし生まれることができないなら、私は決して仏さまには成りません。ただし、五逆の罪（母を殺すこと、父を殺すこと、悟りを開いたものを殺すこと、仏様の体を傷つけて血を流すこと、仏教教団を破壊し分裂させること）を犯したり、仏の考えを謗るものは除かれます。」という内容

です。

阿弥陀様はこの誓いを叶えるために五劫の間考えられ、兆載永劫の間修行をされた『仏説無量寿経』には記されています。五劫も兆載永劫も私たち人間の常識を超えたとても長い時間です。それだけの時間をかけられ王様は阿弥陀様に成られました。

私たちすべてのものをその命終えたときに自分の国、極楽浄土に迎えて、もう二度と悩みや苦しみを持つことの無い仏様として生まれさせてくださる、誓いを叶えられたのです。そして、そのための「南無阿弥陀仏のお念仏」を私たちのもとに届けてくださっているのです。

私たちも大切な人のために頑張ることはできるかもしれませんが、でも、その人のためだけに地位も名誉も投げ捨てて、考えられないほどの時間と労力をかけて努力することができるとはどういうか？どうしてもそこに「自分のこと、自分の有益さ」を考えてしまうのではないのでしょうか？

しかも阿弥陀様はその気持ちを大切な人「だけ」ではなく、全ての生きとし生けるものに平等に思いをかけてくださっているのです。阿弥陀様のご本願に誓われた思いが本当に尊いものなのだと気付かせていただけます。

誓いとは叶えるためにとても大変な努力が必要となるのです。阿弥陀様のご本願に誓ってくださったから、私たちは安心していのちの終わりをむかえることができるのです。

誓願寺では今年も皆様と共に精一杯お勤めをさせていただいたり、皆様が喜んでいただける法座を行っていきたくと思っております（誓っており、叶えるように努力させていただきます。その中で阿弥陀様の誓いにかげられた思いを皆様と喜んでいきたいです。今年もどうぞよろしくお願ひ致します。

ご法座等
のご案内

関東地方にコロナによる緊急事態宣言が発令されている期間は、諸活動を中止致します。ただし蔓延防止期間中は活動の予定です。詳細は「ホームページ」等でご確認ください。

1月

1・1 (土)

■午後一時～
年頭法座

1・9 (日)

■午前十時～
定例法座【上野隆平師】

■正午～

医療相談【佐藤公彦医師】

1・16 (日)

■午前十時～
なかよしクラブ

(乳幼児から小学生までとその保護者)

1・23 (日)

■午後一時～

定例法座・祥月命日合同法要
【濱畑慧徳師】

2月

2・13 (日)

■午前十時～
定例法座

【上野隆平師】
■正午～

医療相談

【佐藤公彦医師】

2・20 (日)

■午前十時～
なかよしクラブ

(乳幼児から小学生までとその保護者)

2・27 (日)

■午後一時～

定例法座・祥月命日合同法要
【福田了潤師】

編集後記



十一月末から数か月の間、一年半ベトナムに転勤していた娘一家が、一時帰国で誓願寺に寄宿することになり、三人家族から七人へ、練馬の次女家族も集まれば十一人の食卓です。賑やかで嬉しい限りです。

そうした中で、年末に風邪をこじらせて、法務に支障をきたすのではないかと心配する状況になりました。今更身体を鍛えることは無理としても、年相応に身体をケアすることの大切さを実感致しました。

十二月のなかよしクラブではプロマジシャン(モンブランさん)によるマジックショーが開催されました。スプーン曲げ体験など、大人も子どもも大盛り上がりでした。



〔マジックショーの様子〕

・本年も大恩寺・岡本住職。慈恩寺・小泉住職のご尽力により法座のご講師が無事決定致しましたことを感謝しご報告いたします。